

入札情報サービスの新機能等について

入札情報サービスでは、2019年4月20日のシステム更新に伴い以下の改良を実施しました。

①【変更】Flash Player 使用の廃止

本サービスの脆弱性対策と共に利用者の利便性の向上を図るため、Flash Player を使用しない方式による画面表示に変更しました。(外観と機能の変更は特にありません)



図-1：入札情報サービス Top 画面

②【新機能】検索結果ソート機能

本機能は、検索結果の項目欄にある「△▽」を選択（▲▽：昇順、△▼：降順）することで選択した項目を基に画面内の情報をソートする機能です。

No	発注機関/担当部・事務所 △▽	工事名	入札契約方式 △▽	工事区分 △▽	開札日 △▼	契約日 △▽
1	テスト用発注機関/テスト用事務所	平成31年度 テスト工事	競争入札(標準型)	一般土木工事	2019-03-18	
2	テスト用発注機関/テスト用事務所	平成31年度 テスト通信設備工事	一般競争入札(同時提出型)	一般土木工事	2019-03-14	2019-03-22
3	テスト用発注機関/テスト用事務所	平成31年度 テスト砂地整備工事	一般競争入札(標準型)	一般土木工事	2019-03-12	2019-03-25
4	テスト用発注機関/テスト用事務所	平成31年度 テスト清流路工事	一般競争入札(標準型)	一般土木工事	2019-03-11	2019-03-27
5	テスト用発注機関/テスト用事務所	平成31年度 テスト道路整備工事	一般競争入札(標準型)	一般土木工事	2019-03-09	2019-03-22
6	テスト用発注機関/テスト用事務所	平成31年度 テスト対策工事	一般競争入札(標準型)	一般土木工事	2019-03-07	2019-03-23
7	テスト用発注機関/テスト用事務所	平成31年度 テスト工事3	一般競争入札(標準型)	一般土木工事	2019-03-07	

図-2：検索結果並べ替え機能（公告日を△▼：降順でソートした例）

③【新機能】CSVダウンロード機能

本機能は、検索結果として画面に表示された一覧をCSV形式でダウンロードする機能です。

検索結果として表示された画面の内容がダウンロードされますので、検索時の検索条件指定画面で表示件数を指定（20、30、50、100）することで最大100件までダウンロードできます。



図-3：検索結果一覧ダウンロード機能

画面内の「CSV 出力」を押すと、以下のように検索結果の一覧がダウンロードされます。

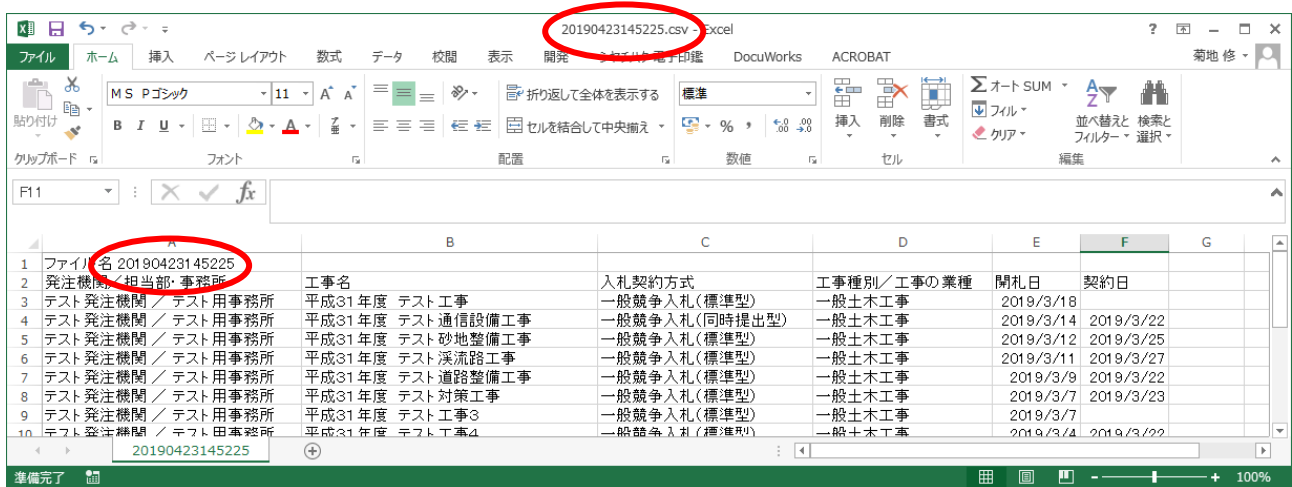


図-4：ダウンロードしたCSVファイル

ダウンロードしたCSVファイルは、「YYYYMMDDhhmmss」のファイル名で出力され、データにもファイル名が記載されます。(保存する際にファイル名は指定できますが、データに含まれるファイル名は変更されません)

また、本機能は画面表示された時点の検索結果を出力するため、発注機関の登録タイミングによって、出力直後に同条件で再検索した際に結果が異なる場合があります。

④【改良】発注機関指定複数選択機能

本機能は、検索する際に複数の発注機関をまとめて検索対象とする場合に使用する機能です。画面内の「複数選択」を押すと選択画面が開きます。

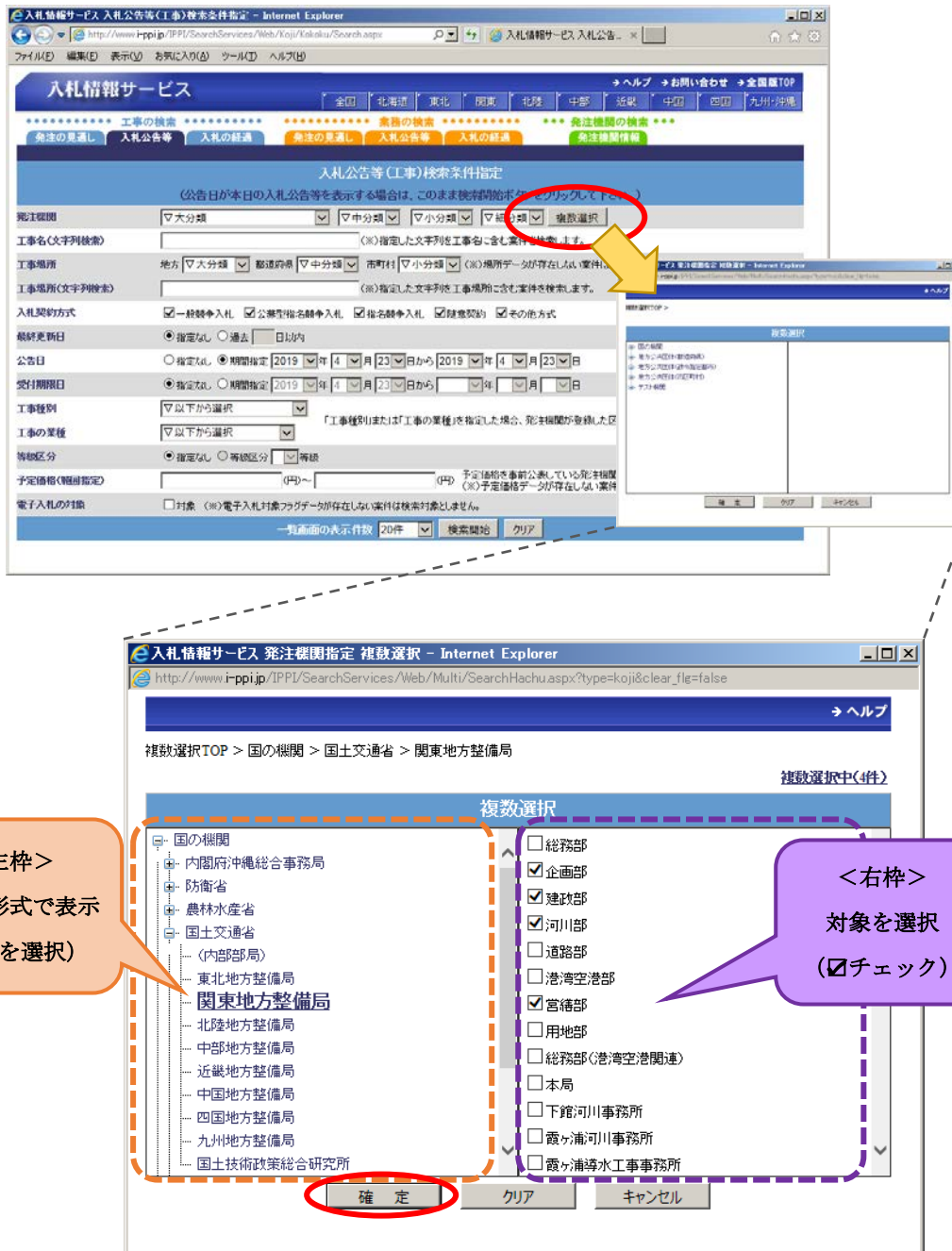


図-5：選択画面

選択画面の左枠は、組織をツリー形式で表示し、ツリーの「+」を押すと下部組織が展開、「-」を押すと集約されます。(左枠内で☑チェックはできません。)

左枠内で組織を選択すると、右枠に下部組織の機関名が一覧形式で表示され、右枠内で検索対象を選択(☑チェック)し「確定」を押すと検索対象が確定され検索条件指定画面に戻ります。

各機能の詳細は、「入札情報サービス操作マニュアル受注者編」をご参照ください。

(<http://www.i-ppi.jp/IPPI/SearchServices/Web/Manual/manual1.pdf>)